



しぶし 3

平成 19 年 3 月号
MARCH

鹿児島県志布志市

CONTENTS No.15

- 02 特集：生涯学習のまちづくり
- 06 まちの話題
- 13 志布志市暮らし
- 14 保健師メモ
- 18 教育委員会情報ネット
- 21 エコ通信
- 22 男女で作るうるおいと活力あるまち

2月4日、鹿児島県内で一番早いといわれる田之浦山宮神社の春祭り「ダゴ祭り」が行われました。地域の方は、この日のために神舞の練習をしたりダゴ花を作ったりしました。（関連記事 10 頁）



生涯学習のまちづくり



延べ

4000人が集った生涯学習フェスティバル

生涯学習フェスティバル開催

2月24日、25日に生涯学習フェスティバルが市文化会館で開催された。

1日目の推進大会では、オープニングで志布志保育園児によるエイサー太鼓の演奏の後、開会行事があり、15の個人・団体に教育功労者表彰が贈られ、花いっぱいコンクール表彰、そして安楽小学校に九州PTAからの表彰伝達が行われ、開会行事後は、おにぎりフェスタと講演会等が行われました。

フェスタでは、食育推進に向け、本市で作った「おにぎりがすき！」の曲にあわせ、志布志幼稚園児によるおにぎりダンスや香月小5年生によるおにぎりコーラスの披露、原田小の「米作り体験」発表があり、参加者の食に対する関心を高めることができました。

2日目のグラウンドフィナーレでは、市内全域から参加する初めての学習発表で40講座470人が今年一年の学習の成果を発表しました。

松山の正琴で幕を開けたグラウンドフィナーレ。子どもが主役の「子どもミュージカル」「子ども太鼓」「よさこい踊り」等は、家族連れでの参加で、カメラのフラッシュを浴び、拍手の渦に包まれていました。

また、昨今の健康ブームに乗り開設された「真向法」「音楽体操」「健



日本昔ばなしの朗読



かわいい踊りに会場は沸きました



フラダンス講座生の発表



水谷先生の講演会は高校生が運営しました



様々な作品が展示されました



屋外ではバザーなども行われました



表彰をうけられた皆さんおめでとうございます

生涯学習推進大会で表彰を受けた皆さん (敬称略)

被表彰者	主な功績	地域
中原 長門	教育委員として貢献。	松山
原 口 濟	教育委員長として貢献。	志布志
榊 山 資次	教育委員として貢献。	有明
肝 付 謙二	文化財保護審議会委員として貢献。	志布志
原 口 和任	文化財保護審議会委員として貢献。	松山
山下 伊佐美	体育指導委員として貢献。	有明
堀 口 千郎	体育指導委員として貢献。	有明
池 尾 浩幸	体育指導委員として貢献。	有明
安 留 広美	体育指導委員として貢献。	有明
和 田 郁雄	体育指導委員・体育協会長として貢献。	松山
津 曲 勇二	体育指導委員として貢献。	松山
佐 藤 彰	子ども会育成連絡協議会長として貢献。	志布志
盛 田 廣明	子ども会育成連絡協議会長として貢献。	志布志

生涯学習推進大会で表彰を受けた団体

志布志文化財愛護会	文化遺産の保存及びその環境整備など文化財保護行政の推進に寄与。
志布志町芸術文化振興会	文化事業への支援など芸術文化活動の活性化や振興に寄与。

第1回花いっぱいコンクール (敬称略)

幼稚園・保育園・学校の部	最優秀賞	田之浦小学校
	優良賞	伊崎田中学校 山重小学校 安楽小学校
地域・職場の部	最優秀賞	生涯学習まちづくり研究大会
	優良賞	香月校区自治会 サンポートしぶしアピア
ガーデニングの部	最優秀賞	恒吉栄子
	優良賞	柳ミキ子 竹井フサ子

九州・全国レベル以上の各種大会等での被表彰 (本年度表彰され、まだ表彰伝達のないものから)

九州ブロックPTA協議会表彰	優良団体表彰	安楽小学校PTA
----------------	--------	----------

第5回生涯学習フェスティバル漬物名人コンクール

最優秀賞	内村エミ	ブロックリーの黒砂糖漬け	有明
------	------	--------------	----

康体操」等の発表では、一緒に体を動かす観客も多く見られ、健康志向の高さが伺えました。
「民謡」「三味線」「コーラス」「朗読」「ハーモニカ」等の発表では、知っている話や曲が出てくると会場と舞台が一体化し、懐かしさも手伝って涙ぐむ人や、曲に合わせて口ずさむ観客を目の当たりにし、まさに生涯学習の真髄を垣間見たようでした。
生涯学習ギャラリーでは、講座生

の木彫りや陶芸の作品など45講座から562人が出展、1089点が展示されました。
その他にも販売、おにぎり作り体験コーナー等が設けられ、会館の中も外も賑やかな雰囲気となりました。
「生涯学習は学ぶきっかけづくり」です。生涯学習センターでは、平成19年度も魅力ある新規講座を用意し、貴方の参加を心からお待ちいたしております。

生涯学習フェスティバルで2つの講演会を開催

京セラ名誉会長稲盛氏講演

生涯学習推進大会では、生涯学習まちづくり講演会として午前と午後2回の講演会が開かれました。午前11時から京セラの名誉会長稲盛和夫氏の講演には、市内外から企業や商工会等の関係者も多く参加され、会場はあつという間に満員となりました。

「人は何のために生きるのか」という演題での講演で「自らの起業家としての基本は、みんなのためになりたい、人を幸せにしたいという気持ちからであり、今その気持ちである。何に対しても感謝する心が大切である」等といった人の生きる意味や生き方について非常に深く感銘を受ける内容でした。稲盛氏の人間味溢れる物静かな口調に、会場の参加者らは時折りうなずきながら聞き入っていました。



講演する稲盛氏

講師の水谷修氏は、非行や薬物問題に正面から向かい、深夜のパトロール活動をされていることから「夜回り先生」と呼ばれ全国的に有名な講師で、開演前から多くの人が集まり、関心の高さが伺えました。
この講演に向けて志布志高校、尚志館高校、有明高校の25人の高校生がボランティアを組織し、1月から毎週土曜日に集まり、ビデオを視聴しての事前学習や歓迎の看板作り、手作りのアンケートを作成するなど準備に携わっていました。
当日の運営でも、受付から会場整理、講師の接待と、元気にてきぱきと行動していました。
講演は「夜回り先生のこころの授業」あした元気になあれ」という演題でしたが、水谷氏の一言一言に青少年へのメッセージや保護者など大人へのメッセージが含まれており、涙を拭こうとしない参加者で埋め尽くされました。



講演する水谷氏

生涯学習のまちづくり

全国子どもをほめよう 研究大会の開催

児童生徒の個性や能力を発見し、これを表彰することによって、心身に健全な児童生徒を地域ぐるみで育てることを目的に児童生徒表彰条例（子ほめ条例）をもとに、平成16年11月に、県内外より約700人が参加した「第3回全国子どもをほめよう研究大会」を本市文化会館で開催し、子ほめの表彰、記念講演、埼玉県志木市長を迎えての首長対談や分科会、大会宣言等を行いました。

創年市民大学の誕生

平成16年 学長に鹿兒島大学法文学部の原口泉先生を迎え志布志創年市民大学を設立。「地域に輝く創年と子どもたち」



全国子どもをほめよう研究大会

市民大学生が、まちづくりへ

平成17年 創年市民大学を「地域に飛躍く創年と子どもたち」をテーマに17のプログラムで実施。

子どもをほめよう研究大会の開催後、市民大学生を中心に「地域に輝く創年と子どもたち」をテーマに17のプログラムを実施。子どもをほめよう研究大会の開催後、市民大学生を中心に「地域に輝く創年と子どもたち」をテーマに17のプログラムを実施。

しぶし創年団の発会

人づくりがまちづくりへ

平成18年 創年市民大学を「協働時代に輝く創年と子どもたち」をテーマに、聖徳大学生涯学習研究所と連携した17のプログラムで実施。

子育て支援や環境学等の講座や創年と子どもをほめよう研究大会の他、「生涯学習まちづくり志縁サミット」

子どもの視点でまちづくり（検地）

これから

今後、団塊の世代のまちづくりへの参加を視野に、生涯学習講座や創年市民大学が合併した松山、有明地区への広がりを図ります。そして、学んだ学生で、それぞれ生涯学習のまちづくりのテーマの中に調査研究された成果が、まちづくりの政策提言として活用されるよう期待します。

生涯学習は学ぶきっかけづくりです。市民が輝けば、まちが輝きます。さあ、あなたも勇気を出して生涯学習にトライしてみませんか。

設立の目的は、市民を主役にしたまちづくりの推進であり、二つの「志」＝目標である「創年と子どもをほめよう」と「地域学から始まるまちづくり」に向け、「布（人財）を育む」＝人材を育成することです。

大学では、市民による明るい住みよいまちづくりの推進を目指し、全国のまちづくり実践者を講師に迎えて学習しています。

をテーマに、17のプログラムを実施。



子どもの視点でまちづくり（検地）

志縁サミット宣言文

私たち第2回生涯学習まちづくり志縁サミットに集う者は、創年が地域社会の中で、子どもと様々な活動を展開することにより、創年には生きがい活動を創出し、子どもには地域の先人たちに学ぶ健全な成長をうながすために創年と子どもを主役とする生涯学習のまちづくりをさらに推進していくことを、目の前に広がる太平洋の大海原を悠々と流れる黒潮にのり、ここ志布志市より全国に発信することを宣言します。

創年市民大学卒業式



まち全体を学び舎に

「生涯学習のまちづくり」の歩み

官民一体の

生涯学習センターの誕生

昭和63年 旧志布志町が国の生涯学習のまちづくりモデル事業の指定を受け、生涯学習推進会議を設置。

平成元年 論議より実践へと民間主導の志布志さわやか大学が開校。（平成10年まで）

平成3年 官民一体の「生涯学習センター」を開所し、生涯学習講座を実施。

平成4年 生涯学習審議会を条例設置。

平成7年 プログラム開発、講師選定、広報編集等を行う生涯学習推進委員会を設立。

委員会の執行機関として、生涯学習センターで生涯学習講座の募集・開設、生涯学習フェスティバルの企画運営、情報誌の発行、生涯学習に関する



駅前をきれいにするまち研メンバー



創年市民大学開校式

相談業務等を行うようになりました。

生涯学習のまちづくりへ

平成14年 生涯学習講座での学びをまちづくりに活かそうと聖徳大学（千葉県）の福留強先生の指導によりNPO法人全国生涯学習まちづくり協会と連携した『生涯学習とまちづくりを楽しむセミナー』事業を開始。

セミナーは、しぶしI K I I K I（いきいき）夢発見塾「地域アニメーター養成講座」や、子どもがメインの「平成子どもふるさと検地」等です。受講生は地域アニメーターに登録し、「志布志生涯学習まちづくり研究会」を発足、生涯学習のまちづくりに関する調査、実践研究を行っています。

創年と子どものまち宣言事業

平成15年 聖徳大学と全国生涯学習まちづくり協会と協働して、「志布志創年市民大学」の開学と「第3回全国子どもをほめよう研究大会」の開催等を行う「創年と子どものまち宣言事業」をスタート。

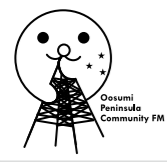
創年（地域社会のために力を発揮し、人生を創造的に生きる中高年の意）と子どもの交流により、創年には、経験と能力を活かして子どもに対する指導を通じて生きがいをもたらし、子どもには、創年に対する尊敬と地域で生きる知恵を継承する全国初のモデル事業です。

創年と子どものまちの大会宣言

一、私たち創年は、地域でほめ、叱り、見つめ、守り、抱きしめることで明日をひらく心豊かたたくましい子どもたちを育てます。

一、私たちは子どもは、地域に学び、地域を愛し、人に感謝し、明日に向って力強く生きる心豊かな人間になります。

一、私たち創年と子どもは、子どもも大人もイキイキ輝く住みよいまちを目指します。



市報しぶしの朗読サービス『和多市のしぶし』は毎週、月曜日と木曜日の午前5時から右のFM局で好評放送中です。

★www.0033fm.net★

FMかのや 77.2MHz FMきもつき 80.2MHz FM志布志 78.1MHz

第1回志布志市ミニバレー大会

1月25日、31日に第1回志布志市ミニバレーボール大会が城山総合公園体育館で開催されました。混成の部が6チーム、女性の部が6チームの計12チームが出場し、競技を行いました。

今回は、特別に小学生バレーボールチームも女性の部に参加し、2位と3位入賞で健闘しました。結果については次のとおりです。

- 混成の部 優勝 M・s B
- 2位 Buzz
- 3位 宮脇 A・宮脇 B
- 女性の部 優勝 さざんか
- 2位 V-キッズ(小学生チーム)
- 3位 スマイル
- 尾野見(小学生チーム)



熱戦を征し混成の部で優勝したM・s B

県コミュニティづくり優良団体

2月2日、かごしま県民交流センターで開催された第50回鹿児島県コミュニティづくり推進大会で、泰野校区青少年健全育成校区民会議がコミュニティづくり推進優良団体表彰を受けました。

同団体は、どろんこ大会や鬼火たき、ウォークラリー大会等イベントや夜間パトロールを実施するなど、安心・安全で心豊かな地域づくりを目指し、校区自治会・学校・PTA等の各種団体や機関が一致協力し、地域の活性化を図るためのふるさと文化伝承・創造に取り組む活動をしていることが高く評価されました。この受賞がきっかけとなり、より良い地域づくりの輪が市内全域に広がっていくことを願います。



表彰を受ける泰野校区自治会長の新村瑞夫さん

自衛艦7隻が志布志港に寄港

2月8日から10日まで、イージス艦「きりしま」など7隻の自衛艦が、1300人の隊員の休養をかねて、志布志港に寄港しました。

歓迎式典では、本港第二突堤に護衛艦「はたかぜ」が接岸し志布志市観光協会、市議会など40人が出席し、瀬戸口助役が「志布志への入港ありがとうございます」と述べました。昼夜を問わず日本の安全を守るための任務お疲れ様です。志布志市で疲れを癒してください」と歓迎の言葉を述べました。式典のあと、市や観光協会、市議会の代表等が「はたかぜ」に乗船し、乗組員から艦内の搭載設備などについて説明を受けていました。



ポートレディーから花束贈呈が行われました

手作りの炭焼き小屋が完成!

2月10日、ダグリ岬遊園地駐車場の隣に『夏井・陣岳ふるさとづくり委員会』の事業として取り組んできた『炭焼き小屋』が完成し、念願の炭を作ろうと25人の委員が見守るなかで、火入れ式が行われました。今回は、竹林から3年以上の竹を厳選し、2か月ほど乾燥させたものを炭の材料にしました。

この火入れ式を実現するために、同委員会は、先進地へ研修に向き竹炭作りの勉強を行いました。また、手製の小屋作りを行うなど、大変苦労しましたが、この竹炭が夏井・陣岳の特産品として広まることに胸を躍らせながら地域一体となり竹炭づくりに取り組んでいます。



ふるさとづくり委員会の情熱が形になった炭焼き小屋

故萩ノ迫孝さんに旭日章を授与

永年、松山町議会議員としてご尽力いただいた故萩ノ迫孝さんに旭日章が授与されました。

2月16日、市役所で家族の方に伝達が行われました。

萩ノ迫さんは昭和46年から24年間、町議会議員として、住民福祉の向上に尽くしました。松山町議会では副議長や文教厚生委員長等を歴任し、産業経済や教育文化の発展に多大な貢献をされました。萩ノ迫さんの功績に感謝します。



旭日章を喜ぶ萩ノ迫孝一さん



志布志市に多大な寄付をいただきました

活力ある地域づくりに役立てて

2月27日、(株)サンコー会長の渡辺紘起氏と社長木村増雄氏が市長室を訪れ、地方の活性化・活力ある地域社会づくりに使って欲しいと、昨年に続き市に200万円寄付されました。

寄付に先立ち渡辺会長は「社会の中に存在する企業が社会のために貢献できるのは幸せなことです」と話されました。

志布志市では、この寄付を地域発展のために活用させていただきます。ありがとうございました。



老人クラブの代表者から手渡されました

小さな親切実行章を受章

2月23日、県社会福祉センターで行われた「小さな親切」賛助委員会志布志市ふるさと協議会(池崎美次代表)が小さな親切実行章を受けました。

これは、昨年10月に行ったクリーン大作戦で、延べ500人が重機やチェーンソーを使い、市内の川岸の雑草や雑木を伐採したり川に流れ込む排水路の泥すくいを実施し、10トダンブ50台、2トダンブ47台分の草や竹などを運び出し河川周辺の環境整備に奉仕したことが評価されたものです。

2月27日に同協議会が市役所を訪れ、市長に受章の報告を行いました。様々なボランティア活動に取り組んでいただき、ありがとうございます。



小さな親切実行章を受章した志布志市ふるさと協議会

柔道で国際大会に出場!

平成19年全国高等学校柔道選手権大会福岡県予選が1月27日(団体戦)、28日(個人戦)に行われ、個人戦73kg以下級で福岡豊国学園高校2年の前田豪選手(志布志中卒)が見事優勝しました。

前田選手は、3月27日にロシアで行われるロシア連邦大統領杯第23回国際青年柔道大会の団体戦、個人戦に出場します。

前田選手は、中学校2年から柔道をはじめました。今後の活躍を期待します。



国際大会出場の前田選手



子ども達は手話で歌を覚えようと一生懸命学習しました

皆で手話に親しみました

2月13日、原田小学校（月野眞紀校長）で、崎田典子さんの指導により、手話の体験学習が行われました。3、4年生と5、6年生と個別の学習のほか、読書タイムを利用して全校児童で手話を勉強しました。

崎田さんは子ども達に「耳の自由な方は、言葉が使えないので意思の疎通を図ることは大変です」と話し、お互いの気持ちを伝えるために、表情や身振り手振りを使う方法のほか、本格的な手話を分かりやすく教えました。

手話の合唱ではテレビアニメでもお馴染みのサザエさんの歌を、全校児童で楽しく行いました。

全生徒の住宅地図が完成!

この度、宇都中学校校長室に生徒名簿に触れると生徒の自宅の場所が点灯する地図が完成しました。

これは、佃正和校長が「生徒を大事にすることは生徒のことを知ること。万一の際は一刻も早く生徒宅に駆けつけたい」との思いがあり全生徒の住宅地図を作成したものです。地図の中に179人の生徒の自宅を記入し、生徒一人ひとりを思い出しながら、LEDランプを埋め込みました。

作業を手伝った1年生の岩元龍輝さんと竹平拓也さんは「難しかったけど、完成したときはとてもうれしかった」と話していました。



生徒の住宅地図の完成を喜び佃校長と岩元さん、竹平さん

おのびピック開催!

2月15日、尾野見小学校（柳田浩子校長）で第4回おのびピックが開催され、全校児童64人が地域の高齢者や保護者が見守るなかで、竹馬や一輪車等で日頃の練習の成果を競いました。

この大会は、運動の楽しさや達成感を味わってもらおうと企画されたもので、子ども達は大会に向け始業前や昼休みに練習を行いました。全体で縄跳びの『時間とび』に挑戦のあと、各学年で一輪車や竹馬などを使った競技を行いました。

その後、体育館で鹿屋体育大学の学生によるマット運動や跳び箱などの競技を見学しました。



全児童が様々な種目に挑戦しました

3校交流会を開催しました

2月15日、森山小学校と潤ヶ野小学校の児童20人が志布志小学校を訪れて志布志小学校の児童との交流学習が行われました。

小規模校に通う子ども達が規模校との1日交流学習を通して、普段体験できない多人数の中での活動や交流を行うことで、豊かな社会性を身につけることを目的に毎年行われています。

志布志小学校の3年1組で交流学習を行った森山小学校の児童は、握手をして自己紹介をするゲームやフールツバスケットなどのレクリエーションを楽しんだ後に、少人数のためにできなかったポートボールの試合をしたりするなど有意義な時間を過ごすことができました。



子ども達はすぐに仲良くなり友達の輪が広がりました

志布志市初のPTA委嘱公開

1月27日、山重小学校（下津芳弘校長）で市誕生後初となるPTA公開『市P連・有明ブロックPTA活動研究公開』が開催されました。

市内全域から約200人を超える参加者があり盛大に行われました。研究発表では5年PTAが一事徹底で取り組んだ「早寝・早起き・朝ごはん」をテーマに駒木智穂子さんが発表を行いました。また、地域PTAや各専門部の発表も行われました。休憩時間には、山重小の保護者の方が作った手作りのお菓子等が振る舞われ、参加者からは「おいしいですわね」との声が聞かれました。

その後、鹿児島養護学校栄養士の中西智美先生による食育講演が行われ、参加者は『食育』の大切さについて学習しました。



多くの参加者を前に講演を行う中西先生

まつやまKids熱演!

2月17日、市民劇団まつやまKidsの演劇公演がやっつくふれあいセンターで行われました。市内から集まった子ども達22人が、昨年11月から約30回の練習を行ってきました。

歌や踊りを随所に盛り込んだ演劇に、ホールに集まった300人を超える観客からは大きな拍手が送られました。



子ども達の堂々とした演技に拍手が沸き起こりました

【お詫び】市報しぶし2月号7ページ下段に掲載された「南日本空手道選手権大会で活躍」の記事の中で紹介した野村聖璃架さんは有明小学校2年生でした。お詫びのうえ訂正いたします。

大相撲九重部屋に入門!

木下一樹さん（志中3年）が九重部屋に入門が決定し、2月22日、志布志中学校に九重親方（元横綱千代の富士）が訪れ、木下さんと面談しました。木下さんは、小学校から柔道を続けており全国大会出場経験もありです。また、小学生の時には、わんぱく相撲に出場しました。

「横綱になる!」と抱負を話す木下さんは、卒業式が終わると九重部屋に入り、5月場所から土俵に上がるといいます。木下さんの活躍を期待します。



親方と固い握手をしました



仲間と共にグラウンドゴルフを楽しみます

89歳でグラウンドゴルフ大会優勝

2月3日に行われた市グラウンドゴルフ大会有明支部新春大会で、有明町野井倉の野村コトさん（89歳）が女性の部で優勝しました。

「当日は36打で回りました。グラウンドコンディションが悪かったので優勝したときはびっくりしました。とてもうれしいです」と野村さんは話していました。

野村さんは自宅近くの練習場で仲間と共に週に2、3回は練習に汗を流しています。



素敵な本をありがとうございます

市内の子ども達に本の寄贈

有明町蓬原の堀口泰久さん（鹿児島堀口製茶・和香園社長）が志布志市の子どものために『川がき春（岡田哲也著）』100冊の寄贈をしました。

この本は、都会から鹿児島にやってきた少年テツの自分探しの旅を描いた小説で、「この本には命の大切さや五感で感じる事の素晴らしさ、挑戦する精神が書かれています。是非、多くの未来を担う子ども達に読んでほしい」と堀口さんは話しました。2月21日、志布志支所で坪田教育長に本を手渡しました。



春の足音を響かせながら・・・
選手のみなさん感動をありがとう！
～第54回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会開催～

最終日、日間優勝でゴールに飛び込む25回出場の江川一正選手

曾於チーム総合2位でゴール
今回で54回目の鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会（南日本新聞社主催）が2月17日から21日まで開催され、曾於チームは総合で2位と最後まで熱戦を繰り広げました。
9年ぶりにチームに復帰し、出走全てを区間賞でチームに貢献した永田宏一郎選手。チームの副キャプテンとして、チームをまとめた鮎川俊一選手。4日目的地入り日間優勝に貢献した抜迫久也選手・後藤健太選手。長丁場の区間を任せられ、チームのエース級に成長した坂中伸作・坂中省章選手。県下一周駅伝に25回出場し最終日にアンカーを務めた江川一正選手の7人が出場し総合2位の



雨の中を走る抜迫選手 坂中省章選手の走り

県下一周駅伝



後藤選手のサポート 出走全て区間賞の永田選手

今年25回目の出場を果たした江川選手に「僕たちの生まれる前から走り続けるのはとても凄いことです。今後に向けて更に練習を重ねていきたい」と後藤選手は話していました。選手の皆さんお疲れ様でした。



力走する坂中伸作選手 雨の中を走る鮎川選手



毎年心のこもったソバのおもてなしありがとうございます

県下一周駅伝をソバでもてなし
鹿児島県下に春の訪れを知らせる県下一周市郡対抗駅伝競走大会で、毎年、伊崎田中継所志布志市地域女性連絡協議会有明支部（榎添登美子会長）が、選手や大会関係者を手打ちソバでもてなしています。
2月20日、大会関係者や応援に訪れた方のために前日から準備を行い、当日は早朝6時からソバ300食や煮しめを作りました。
また、選手には愛情のこもったお弁当も作りました。
例年、このソバを楽しむにしている大会関係者も多く、伊崎田中継所は多くの人でにぎわいました。

一足早い春の訪れ
2月4日、田之浦山宮神社で鹿児島県内で一番早いといわれるダゴ祭りが行われました。
ダゴ花は米粉でつくった色鮮やかな団子で、わらを巻いた青竹にニンジンや大根などと一緒に串刺しされています。今年は校区の11自治会と田之浦小学校児童の作った計12本の「ダゴ花」がお宮に飾られました。
また、お宮の前に作られた舞台の上では、保存会による彦舞や四方鬼神舞などの神舞や同神社に伝わる神舞6段が披露されました。
その後、飾られていたダゴ花が境内に運ばれると、待ち構えていた見物人が我先にと手を伸ばしダゴを手に入っていました。このダゴを食べると1年間無病息災といわれています。



毎年恒例の「ダゴ花」の争奪戦



子ども達はジェスチャーなどで心を通わせていました

国際交流を楽しみました
2月3日、4日に開田の里公園でインターナショナルイベントイン開田の里が開催されました。
市内の小学校4年生以上24人が参加したこのイベントには、アメリカやオーストラリア、中国の方など12人が参加講師として子ども達と交流を行いました。
講師の母国の紹介やゲーム・スポーツ体験等のほか講師と一緒にそば打ち体験・夕食作りなどを行いました。
風呂焚き体験では日本に古くからある五右衛門風呂に講師も子ども達も大変喜んでいました。
一泊二日の交流でしたが、子ども達は様々な国の伝統や文化についても学びました。



S L 保存会の皆さん

S L がピカピカになりました
2月15日、志布志町の鉄道記念公園に展示してある蒸気機関車（C58112号）の清掃をS L 保存会（黒石孝久会長）が行いました。
この蒸気機関車は、製造されてから67年が経過しています。昭和50年までの8年間は志布志線を中心に走っており市民にも馴染みですが、長い歳月で痛んでいる箇所も多く、市から委託を受け年に6回ほど保存会が清掃や手入れを行っています。
この保存会は蒸気機関車が好きな人が集まっている会で、若い頃は旧



皆で力を合わせて作業しました

同会の宮内春芳さん（68歳）は「この機関車は手入れをしなければすぐにボロボロになり原型を留めておくことはできません。私達は次の世代にもS L が走っていたということを伝えたいと思いつつ活動が続けています」と話されました。



丁寧に手入れを行いました

志布志市 暮らし

LA LA SOLEIL

Vol5. 中原長門さん(73歳)

志布志市に芸術の種をまく

中原長門さん(松山町新橋)は、小学校の教諭をしながら受験勉強をして美術大学に入学しました。その後、中学校の美術教師として活躍された根っからの芸術家です。定年後も松山地区で高齢者学級の陶芸教室の講師を引き受けたり、現在も市の生涯学習で講師を行い、曾於市で淡彩画のサークルの指導を行うなど多忙な毎日を送っています。また、自宅横のアトリエには指導を仰ぎに、多くの人が訪れます。取材に訪れた日も常連という志布志町安楽の徳元秋子さんと仙田茂さんがアトリエで陶芸に取り組んでい



「絵は妥協したらそこまで」と話し最後まで集中して描きます



大隅の國やちつく松山藩秋の陣まつりでは、社会福祉協議会に絵の売上を寄附するために描くなどの活動も行います。



中原さんのアトリエには、ゆったりとした温かい空気があふれています。

みんなで作る共生・協働のまちづくり

NPO等連絡協議会が発足

7団体が
情報交換を目的に集結

1月31日、これまで、福祉や地域づくり、防犯活動、放送事業など個々に活動していたNPO(特定非営利活動団体)法人等が横のつながりを持ち、団体や地域の活性化につなげようと『志布志市NPO等連絡協議会』を設立しました。

この協議会に参加したのは、志布志市内に事務所を置くNPO法人6団体と、法人化を目指す1団体の7つの団体で、市内におけるNPO等が地域活性化や人材の育成等総合的に推進することと会員相互の情報交換を目的としています。

協議会では委員の互選により、代表世話人に地域防災推進協議会の前原徳雄委員を、副代表世話人に志布志コミュニケーション放送の島津陽亮委員を、書記にあんしん・あんぜんパトロールしずし創年団の川崎幸夫委員を選出しました。

役員選出後は、意見交換を行い、年4回の情報交換を行うことやそれぞれの活動を市民に理解してもらうために積極的に情報発信を行い、行政に活動をアピールし事業を受託できるように活動することなど意見が出されました。

また、活動資金の不足や活動の

拠点となる施設がほしいことなど課題・要望も出されました。

代表世話人の前原委員は「情報交換の場としてこのような協議会を設立することが出来てよかった。市内のNPO法人等が連携することで個々で出来なかった新たな社会貢献の可能性もあり、それぞれの団体の活性化にもつながると思います」と話していました。

市では、行政のパートナーとしてのNPO法人等の活動には大きな期待をしています。このような協議会の活動が刺激になり、新たなNPO法人が設立され、共生・協働の輪が市内全域に広がることを期待します。



各NPOの代表が集まり意見交換が行われました

輪っことしずし

志布志暮らしを満喫している素敵な仲間

バスケットボールでストレス発散

「バスケットボールを追いかけると、日頃のいやなことも全て忘れられるんです」と井手なつみさん。「いい汗かきますよ。今話題になっていくメタボリック症候群なんて怖くないですよ」と近藤弥生さん。

元氣ハツラツなお2人が所属するのはバスケットが大好きな女子の集まり「めぐりんこりん」。

「明るく楽しく健康的に!!!」をスローガンに毎週水曜日の20時〜22時まで有明中学校で男子チームの「志布志クラブ」と合同で練習しています。

しかし、ストレス発散や健康増進といふことづくめのバスケットチームにも悩み事があります。それは人手不足。現在メンバーは5人!

「バスケットする若い女子がいなくて!!試合どころか練習するのも厳しい状況なんです!!楽しいのに」切実に訴えるキャプテンの井手さん。



もちろん練習は一生懸命!

最後に、こんな私たちでも唯一参加できる大会があります。「鹿児島県民体育大会」です。7月頃の曾於地区予選を勝ち進めば、県内の地区代表と試合ができます!今年は開催地区が曾於なだけに、何とでも出場し、いい成績を残したいと思っています。

バスケット好きの人、フレッシュな汗とゴールを決めたときの快感を一緒に味わいましょう。興味のある方は是非、毎週水曜日に行っている練習に遊びに来てください。



社会人になってもスポーツを楽しんでいる皆さん

「さんふらわあ」大阪～志布志航路の存続を！ 鹿児島県知事が商船三井を訪問しました

2月16日、伊藤祐一郎鹿児島県知事が、「さんふらわあ」大阪～志布志航路を運営している株式会社ブルーハイウェイライン西日本の親会社である株式会社商船三井を訪れ、存続の願いをしました。

知事は、県・市・トラック協会等各種関係団体などが行う「さんふらわあ」支援策をまとめたものを説明しました。商船三井の芦田昭充社長は「支援策についてはありがたい。社内で十分に検討したい」と話されました。また、この会談の中で、具体的な支援策を求められることや、明確な回答は得られませんでした。

県や市、トラック協会等関係団体が行う支援策は、4月以降、順次実施していく予定ですので、広報等でお知らせしてまいります。

2月24日付け南日本新聞 「さんふらわあ」モニターツアーについて

先日の南日本新聞で募集しました、さんふらわあ体験モニターツアー～春の山陰・日本海編～は、ご好評につき、完売いたしました。これは、販売初日に売り切れてしまったためです。ご予約いただけなかった皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

是非「さんふらわあ」のご利用を!!

今後も、このようなツアーを企画してまいりますので、是非ご利用ください。皆様の「さんふらわあ」のご利用が、存続につながります。広報紙でも、事前に分かりましたツアーについては、掲載してまいりますので、是非、GO!GO!志布志港のコーナーにお目通しください。



市をはじめ様々な団体が「さんふらわあ」航路存続に向けて様々な取り組みを行います。皆様もさんふらわあの利用をお願いします。

2月6日 農村環境改善センター 5歳児歯科健診の虫歯の無い子どもたち



しょうか 咲花ちゃん
ゆいと 唯人ちゃん
あゆらちゃん

2月16日 やっつくふれあいセンター 5歳児歯科健診の虫歯の無い子どもたち



かい 嘉李ちゃん
かの 葉乃ちゃん
けんた 賢大ちゃん



りりか 莉々華ちゃん
しゅうと 脩人ちゃん
みのり 未乃梨ちゃん



そら 空ちゃん
しゅんすけ 俊介ちゃん
ひなこ 日奈湖ちゃん
かいと 海渡ちゃん



ゆうひ 悠陽ちゃん
まほ 真帆ちゃん
なお 七生ちゃん



りょう 稜ちゃん
りん 凜ちゃん
ゆうき 優起ちゃん
ふうか 風光ちゃん

健康についての様々な相談にいつでも応じています。お気軽にお問い合わせください。

本庁保健課 Tel 474-1111 志布志支所福祉課 Tel 472-1111 松山支所福祉課 Tel 487-2111



自宅廊下に足元灯を付けるなど様々な工夫で転倒予防を!

歩く時に、足先がしっかり上がっていき、つまみかかとを踏みます。つまみかかとを踏むことで、足の裏や指を刺激し鍛えることが必要です。また、ちよつとした心がけも必要です。例えば、①外出する時は、スリッパより運動靴。②ズボン

先日、地域包括支援センターに、ある市民の方が来られ、「近所にズボンをほこうとして転倒し骨折した方がいるがこのようなことが起こらないように、少しでも転倒を予防する方法はないだろうか」と話されました。たしかに、高齢者の寝たきりの原因の一つとして転倒による骨折が増えています。高齢者が骨折すると、長期の入院になりやすく、退院後も日常生活に支障がある場合が多くなっているの

が現状です。この市民の方も、こうした現状を憂慮され、なんとかできないものかとの思いから相談に来られたところでした。原因としては、転倒はなぜ、どのような時におこるのでしょうか。「最近、足腰が弱くなった」「すぐよろけてしまう」「なんでもない所でつまみかかとを踏む」「ズボンをほこうとする」とフラフラして立ってられない」「等、思い当たることはありますか。これは、足の筋力が低下し、バランス機能が悪くなっている可能性があります。このような時に転倒をおこしやすくなっているのです。



転ばぬ先の……?

転倒予防のために

足指ジャンケン運動

勢いをつけて『グー・チョキ・パー』をやるのが簡単になったら、ゆっくり実施してみましょう。思ったより足の指の開きが悪いこともあります。相手をみつけて、ジャンケンするのも楽しく運動できます。

グー：足の指をグッと締めましょう



チョキ：親指以外の4本の指を親指からはなして下へ折りましょう



パー：足の指をひろげましょう



足の指と足首のストレッチ体操

①足の甲に手をおき、手前に気持ちのよい程度にひきよせ、20～30秒間保ちましょう。



②足の甲側から指先をつつみこむように手をおき、指をそらせるようにしてのばし、20～30秒間保ちましょう。



③さらにイラストのような指の形をつくることを10回繰り返します。この形から、足指に力を入れて手の指をはじくと効果的です。



①反対の足も行いましょう。



地域に根ざす伊崎田中

伊崎田校区では伊崎田相撲や伊崎田和紙漉き、白鳥神社神舞など、地域伝統の行事がたくさんあり、中学生も積極的に取り組んでいます。特に10月に行われる伊崎田相撲大会は、100年近い伝統を誇ります。

部活動も活躍伊崎田中

野球、バレー、剣道、ソフトテニスの4つの部活動があり、どの部も熱心に活動をしています。各種大会で入賞するなど、活躍が見られます。特にソフトテニス部は新人総体で団体・個人優勝するなど、大活躍しています。



あいさつとびかう伊崎田中

あいさつのとびかう学校を目指して、生徒会役員が毎日校門であいさつ運動を行っています。



生徒力みなぎる伊崎田中学校！



強い絆の伊崎田中

伊崎田中学校の生徒は小学校から9年間クラス替えがなく、同じメンバーです。だから、仲が良く、どこにも負けない強い絆があります。



環境美化活動で苗を植えています

花のあふれる伊崎田中

伊崎田中学校では生徒会美化委員会を中心に、全校生徒で緑化活動に取り組んでいます。すべての花を種から育て、広大な花壇や1000個以上ある鉢やプランターは常に色とりどりの花で彩られています。

このような活動が評価され、本年度の「鹿児島県花いっぱいコンクール」では優良賞を受賞しました。



育てた花でいっぱいの卒業式会場

伊崎田中学校

あいさつとびかう学校
明るい歌声のひびく学校
花と笑顔があふれる学校

校 長	柿野幸広
生徒数	63人
学級数	3学級
P戸数	57戸

伊崎田中学校

(写真：体育祭が終わって全校生徒で記念写真！)



みんなの学び舎

校訓：＜強く＞＜正しく＞＜素直な子＞

校 長	乙須 稔
児童数	365人
学級数	15学級
P戸数	270戸

香月小学校



生きがい大学の方との交流風景



生きがい大学の方との交流風景



一校一運動「なわとび運動」



(写真：香月小学校のとっても元気な6年生の児童)

花と緑に包まれた学校



創立50周年を迎えた香月小

本校は志布志市の南部に位置し、南は志布志湾が広がり、北側は国道220号線に面し、西隣は県立志布志高校、東の方に商店や住宅が続いています。校舎2階からはさんふらわあ号や枇榔島を見ることができ、学校は広い運動場と緑の木々に囲まれた環境の中にあります。

一人ひとりを大切にされた教育



1人1台のパソコンでじっくりと

香月小学校は、本年度で創立50周年を迎えました。現在、通級制の言語治療教室や2つの特別支援学級など特別支援教育のための学級を含めて15学級があります。学ぶ楽しさ、分る楽しさを味わえる授業の実践を通して、子供たちは将来に向けて大切な生きる力を日々学んでいます。今年度から各学級にもパソコンが1台ずつ配備され、パソコンを使った授業も多く取り入れられています。

盛んなPTA活動



おやじの会恒例「餅つき体験」

「総務部」「社会部」「安全部」「施設部」「保体部」の5つの専門部で構成され、児童の健全育成をめざして、いろいろな行事に積極的に取り組んでいます。

また、家庭教育学級や親父学級（おやじの会）の活動も盛んで、子供たちへの読み聞かせや体験活動、各種学習会、教育環境の改善・整備の奉仕活動にがんばっています。

おにぎりおやつで元気もりもり！ おにぎり大作戦推進プラン

■問い合わせ先 教育委員会生涯学習課 TEL 472-1111 (内線 265)

食育の推進、特に「早寝 早起き 朝ごはん」運動と、「おにぎり大作戦」の普及のために、2月24日(土)と25日(日)に開催された生涯学習フェスティバルで、おにぎりフェスタとおにぎりコーナーを開催しました。

生涯学習推進大会の中で開かれたおにぎりフェスタでは、本市で作られたおにぎり大作戦のテーマソング「おにぎりがすき！」をコーラスやダンスで子どもたちが披露したり、小学校での「米作り体験」についての発表をしたりしました。米作り体験は子どもたちにとって、食べ物の大切さを知り、食べ物や生産者などに感謝する心を培うよい機会となっているようです。

また、文化会館前庭のテントでは、食育や米に関するパネル展示や食へのアンケート、パンフレットの配布などと併せて、おにぎり作り体験がありました。子どもたちは、学校給食センターの栄養士の先生方や食生活改善推進員の方々の指導のもと、思い思いのおにぎりを作り、口いっぱいほおぼっていました。小さな子どもでもできる手軽なおにぎり作りですが、おにぎり作りを楽しむことは、食べる楽しさにもつながり、また、食への関心を高める要素もあります。ときには、下にあるようなかわいいおにぎりなど作ってみてはいかがでしょうか。

おにぎりコーナー—どんなおにぎりができたかな？



おにぎりフェスタで発表したよ！



「おにぎりがすき！」を歌う香月小5年生の児童

アンパンマンおにぎりにチャレンジしよう！

■材料 (10個分)

米 300g かつお節 10g しょうゆ 少々
ウインナーソーセージ (20cm位) 1/3本
プチトマト 3個 のり 1/10枚

※ラップを用意しておく。

- かつお節にしょうゆで味つけてごはん混ぜ、少し平らな丸いおにぎりを10個作る。
- ソーセージの輪切りを20個作り、ほったたに。プチトマトは1個から4片切り、鼻にする。のりで眉、目、口を作る。
- ①に②をそれぞれ飾り、仕上げる。



「おにぎりがすき！」で踊る志布志幼稚園の園児



米作り体験を発表する原田小6年高吉謙吾さん

おにぎり大作戦推進プランイメージソング ～おにぎりがすき！～

あさひがーか が やくひはー そとへーと びだそうよー みんなでーたの
あさからーあ め の ひにはー そとでーあそべ ないからー ぼんをー(2)よ
し く げん き に あ そ ぼ う お な がーす い た と き はー お か しーでも
ん で し ず か に す こ そ う お な がーす い た と き はー ス タ ッ クーでも
い い け どー か あ さ んーが つ く っ たーお に ぎ り が い いー ぼ く の は う
い い け どー と お さ んーが つ く っ たーお に ぎ り が い いー ぼ く の は さ
め ぼ しーき み の は ふ た み そ だ ねーど ち ら も き っ と う ま い ぞ も り も り た べ よ う
ん か くーき み の は ま ん ま る だ ねーど ち ら も き っ と う ま い ぞ も り
も り た べ よ う
ら ら ら らーら ら ら らーら ら ら らーら ら ら らーら
ら ら らーら ら らーら ら らーお に ぎ り が す きー

作詞：上久保大介
作曲：入江 英美
編曲：宮田 智徳



教育委員会情報ネット

本当はだれ 真実はどこに！



王子とこじきの上演舞台から

劇団四季ファミリーミュージカル『王子とこじき』が、2月3日(土)志布志市文化会館で開催され、多くの親子連れなど1000人が来場しました。
お城で育った王子と、まちに住むこじきは、それぞれに、着る物や食べるもの、暮らしがまったく違っていましたが、顔がそっくりのこの二人が出会ったのです。
王子は、町の暮らしにあこがれ、こじきは、お城の暮らしを夢見ていましたので、二人は、服を取り替えてみました。さあ、それからが大変な王子はどっちだ。僕を信じて！

■子供たちの感想
「毎年観に来ています、来年も観に来ます」「身なりなどで、人を判断してはいけないということがかつた」「飛び出す絵本みたいだった」「わたしも出てみたいになった」「とても迫力があつた、感動して泣きました」

■大人の感想

「歌・ダンス、本物に感動した」「本当のこと、勇気を出して言うことが大切だと思った」「孫たちも喜んで、また観に来たいとのこと、自分も引き込まれそうです」「すごかった。鳥肌がたちました、また観にきたいです」

■「真実の歌」
今回も、南日本新聞社との共催で広い範囲に広報がされて、志布志市内はもちろん、市外からも多くの方が観に来てくださいました。ありがとうございます。

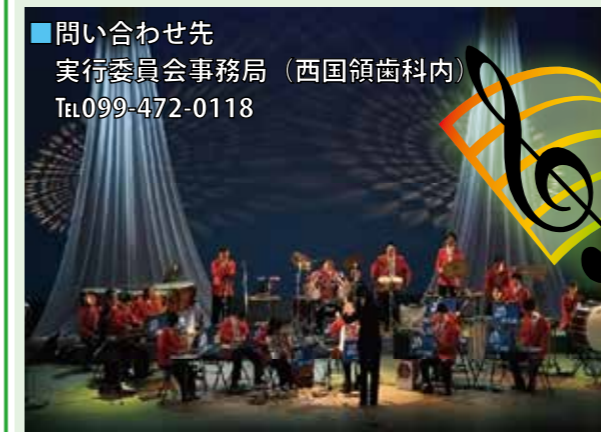
どんなときでも
本当のことを
姿かたちじゃなく
だまされなくて
真実を
真実を
はつきり言おうよ

JOY倶楽部コンサート：のしびし 感動のつなみをあなたに～Part2～

あの感動を覚えていますか？4月14日(土)・15日(日)再び彼らと出会えます。

4月14日 若潮酒造千刻蔵 午後4時開場(午後4時30分開演)
チケット 2500円(軽食付)
4月15日 志布志市文化会館 午後1時開場(午後1時30分開演)
チケット 小・中学生 1000円 一般 1500円

※チケットは志布志市文化会館、サンポートしづしアピア、若潮酒造協業組合にてお買い求めになれます。



JOY倶楽部ミュージックアンサンブルのメンバーは知的障害を持った青年たちです。障害がある彼らにとって演奏することは、いのちを輝かせること、生きることそのものです。純粋に音楽に向き合う彼らだからこそ表現できる音の世界をお楽しみください。きっと皆様の心に溶け込みあたたかな気持ちになれるでしょう。よろこびをみなさまと分かち合えることができれば幸いです。(JOY倶楽部コンサート in 志布志 実行委員会)

21世紀は環境の世紀！未来の子ども達に美しい地球を残すことは今を生きる私たちの責任です。



地球にやさしいこと はじめよう！

2100年には4度上昇
新技術や高効率化技術が急速に導入されて...

第4次評価報告書
2月2日に、世界の一線の研究者でつくる国連「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」が、各国の政策決定者に向けて第4次評価報告書を発表しました。

台風が大型化する

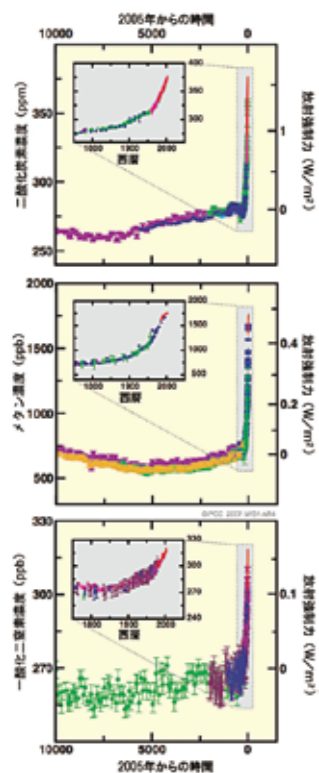
過去100年で0.74度上昇
前回の2001年に発表された第3次評価報告書では、「この100年で世界の地上気温は0.6度上昇」と記載して...



台風が強くなったように感じるのは気のせい？

環境にやさしい行動を！

温室効果ガスの変化について



環境にやさしい行動をとること、もはやこのことが今を生きる者の責務なのかもしれません。



ごみを捨てないで！

私たちのできること
「低炭素社会の実現に向けての行動が必要で、国民一人ひとりが、自分の生活を見直し、温室効果ガスの低減のために何ができるか考え行動すること...



未来の地球のために！

私たちのできること

マイロードクリーン大作戦 参加者からの一言

私は、毎週1回自宅近くの道路のごみ拾いをしています。道路がきれいになるとうれしいです。

でも、この前「あれっ？」と思うことがありました。私がごみ拾いしていると畑仕事をしている人から「その土手の空き缶ももって行ってください」と言われました。その空き缶は、農作業の休憩時に飲んだジュース缶なのです。以前にもその畑の土手には時々そんなふうにして空き缶が置いてあることが何回かありましたが、何かおかしいと思いませんか。その時は「自分で飲んだのは自分で処理しないといけませんよ」と言いました。自分たちで飲んだジュース缶は、自分で処理すべきですよ。

「マイロードクリーン大作戦」とは、一人ひとりが道路などのある区間を決めてその区間の空き缶拾いなどをすることです。

図書館へ行こう

今月のテーマ図書 「春ですな」



今月のテーマ図書 「ベストリーダー」



新刊案内

「100万分の1の恋人」 榊 邦彦 著
ある日、彼女は秘密を打ちあけた。「私は、0.0001%の運命を背負って生きてるの」。

「クジラの彼」 有川 浩 著
合コンで出会った史上まれに見る高物件の彼は、次にいつ会えるかわからない潜水艦乗りだった...

毎月23日は「子どもといっしょに読書の日」

電算化に伴う図書館利用について（お知らせとお願い）

4月から本館と松山分館（やちくふれあいセンター内）・有明分館（改善センター内）を含む5分館がオンラインで結ばれ、図書館がより身近になり、利用しやすくなります。

松山分館・有明分館休館のお知らせ

市立図書館松山分館及び有明分館は、図書館システム電算化のため3月まで休館しておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

図書館情報
休館日カレンダー (本館)
March 3月
April 4月

Calendar table for March and April with dates and circled numbers.

- 休館日
かみふうせん読み聞かせ会 14時～
毎月第4土曜日読み聞かせ会 14時～
分館催し物のお知らせ
3月3日(土) 松山分館読み聞かせ 14時～
3月17日(土) 松山分館読み聞かせ 14時～
志布志分館読み聞かせ&工作会 10時30分～
安楽分館読み聞かせ&工作会 14時～
3月24日(土) 有明分館読み聞かせ 10時～
図書返却ポストを設置しましたのでご利用ください。
・有明分館 農村環境改善センター入口
・松山分館 やちくふれあいセンター 正面玄関



しぶしポートマラソン2007
平成19年3月18日(日)
皆さんの応援をお願いします
種目: ハーフマラソン 21.0975km 9:30スタート
3km 9:35スタート 5km 9:40スタート
ファミリーコース (1.5km) 9:40スタート (5kmスタート後)
(スタート・ゴールは志布志運動公園陸上競技場です)
問い合わせ先: しぶしポートマラソン大会事務局 (志布志市教育委員会生涯学習課内)
Tel. 099-472-1111 (内線264)

■問い合わせ先 企画政策課男女共同参画係 Tel 474-1111(内線 255)
 パートナーからの暴力など、男女共同参画に関する悩み、情報がありましたらご連絡ください。秘密は固く守ります。

**男女共同参画社会
 の実現を目指して**
 Vol.13

**男女で作る
 うるおいと活力あるまち**



多くの参加者で会場はにぎわいました



手作りの郷土菓子を食べながらの休憩

3月10日「農山漁村女性の日」をご存知ですか？

「農山漁村女性の日」とは今女性が農業者の6割を占めるなど、農林漁業生産に重要な役割を果たしているだけでなく、家事、育児、高齢者の介護などを通じて、健全な生活を営むために重要な役割を担っています。そこで21世紀の農林漁業、農山漁村の発展に向け、女性の役割を正しく認識し、適正な評価への機運を高め、女性の能力活用を促進することを目的として農林水産省より「農山漁村婦人の日」がもうけられ平成10年に「農山漁村女性の日」と改め女性の能力(知恵、技、経験)をトータルに発揮できるようにと設けられた日です。

みんなが主役の講演会

2月17日に「みんなが主役の講演会」が開催されました。当日は市内・外で活動されている各種団体やグループの方々が130人ほど参加され、女性支援推進会議委員を中心とする9つの団体・グループによる、活動紹介や実演が行われました。

また、会場に参加のその他の団体・グループによる活動紹介や、(有)ファーストシーンの代表取締役である本部映利香さん(3月から(株)ドゥーイット、代表取締役坂元彫荷さん)によるミニ講演もありました。講演は「女性が成功するコツ」と題し、16歳から自営業を始め、現在はいくつもの会社を経営し、今までの経験で感じたことや思いをユーモアを交え、講演を行いました。最後に、会場に集まった皆さんとの交流会を行い、松山町「やっちゃん母さんの家」、有明町「釜小屋」のグループによる手作りりふくれ菓子とお茶で、大変にぎやかに情報交換を行いました。



本部映利香さんの講演

- みんなが主役の講演会ではオープニングで「チーム有明どっこいしょ」によるヨサコイが披露されました。その後、女性支援推進会議委員を中心とした団体の活動紹介が行われました。(発表タイトル・発表団体)
- 地域女性連絡協議会の活動
 志布志市地域女性連絡協議会会長 松元トヤさん
- 保育の現場から(ビデオ)
 純真福祉会通山保育園副園長 小野芳枝さん
- げんき市「いちの会」の活動紹介(ビデオ)
 いちの会 鶴迫京子さん
- PTA活動の中から
 松山町泰野小学校PTA副会長 白坂真奈美さん
- 歓迎お釈迦まつり
 志布志市商工会女性部副部長 山之内恵子さん
- エプロンシアター
 読み聞かせボランティアグループかみふうせん 田原寿美子さん
- なかよしの実践
 ボランティアグループなかよし会長 春田良子さん
- ホームヘルパーの業務(入浴サービス実演)
 志布志市社会福祉協議会 森村律子さん
- 会場の参加団体からの活動紹介(腹話術など)
 全日本あすなろ腹話術同好会大隅パペット支部のほか、かあちゃんべぶんこ会・生活研究グループ・食生活改善推進連絡協議会・朗読ボランティアグループ鈴・読み聞かせグループにこここ☆ひろば・有明更生保護女性会・あんぜんあんしんパトロールしずし創年団・男女共同参画推進懇話会・志布志市PTA連絡協議会・NPO法人志布志コミュニティ放送が参加しました。

女性支援対策室から ボランティア活動を行いたい、女性起業としてチャレンジしたい、そんなあなたの「再挑戦～チャレンジ」を支援していきます。困っている方、事業を計画されている方、あなたの「思い」をお話ください。一緒に解決に向けての努力を行います。女性支援対策室は、志布志市役所(有明本庁)2階:企画政策課内にあります。



もっと『志布志ブランド』を全国に発信したいと話す河原さん

志布志市で、お茶農家の西崎正重さんとの出会いにより、農薬不使用栽培で育てたお茶を贅沢に配合した石けんを開発し全国展開を行っています。開発には1年を費やし「お茶どころ志布志市の農薬を一切使わない茶葉と椿油、ローヤルゼリーなど、天然の素材を配合した洗顔石鹸ができあがりまし」と話します。「個人でやるよりも起業して社会的責任を持って、この石けんを普及させたい」との思いがあり、商品開発途中の平成18年5月に株式会社スマイルユウを設立しました。今後は、現在行っているインターネット販売を更に拡充し、電話オペレータを雇用して、配送も大隅半島は自社で手がけたいと展望を話しました。

みんなのぞかお
 えがおで潤う志布志市

河原比呂子さん
 Hiroko Kawahara
 事業所 (株)スマイルユウ
 志布志市有明町原田 100-5
 Tel 0120-117-174
 「志布志市発! 全国に

情報と商品を展開していきたい」

社会責任を果たすために起業!
 志布志市の原田に河原さんが住み始めて現在3年目です。エステシヤンの資格を有し以前は、福岡県でエステサロンを経営していました。この『緑茶石鹸しずし』を開発したきっかけは、以前からオリジナルの化粧品を開発してみたいとの強い思いがあり、志布志市は、全国・九州茶品評会むし製玉緑茶の部で、産地賞・農林水産大臣賞を受賞するなどお茶の産地で、お茶にはカテキンなどの成分が豊富で「これを使わない手はない」と試作品作りを始めました。



事務所では全国から注文の電話が鳴り響いていました

～男女共同参画社会とは～

すべての人の人権が尊重され、性別にとらわれず、様々な分野でその個性と能力を発揮し、ともに責任と喜びを分かち合える社会です。すなわち、個人の生きる力を発揮しながら、社会の一員としてそれぞれを支え合い認め合い、多様性に満ちた社会をつくっていくことです。

■男女共同参画はすべての人が対象
 「男女共同参画」というと、「女性のためにあるもの、女性の地位向上のためのもの」といった感じがある」ということがよく言われますが、男女共同参画が目指すものは、すべての人がより豊かに生きることです。

■「人として」大切なことは
 私たちを取り巻く環境は、男性と女性の2つの枠組みに大きく分別され、男子は外に、女性は内といった社会規範の中で、性に基づく生き方を求められています。自己表現に向け歩き出そうとした時「男性」、「女性」はこうあるべきといった必要以上の性によるとらわれやこれまでの価値観などで可能性を摘んでしまうことも少なくありません。生物学的な性差はあっても、社会の中で、「人として」「個人として」生きていく上で、何が大切なかを考えていくことが必要ではないでしょうか。



2月18日、安楽神社の春祭りで行われたカギ引き

文芸

*Haiku poem of 31 syllables *Comic Haiku *2007.3

俳句 (はつはな俳句会)

母笑みて九十六歳豆を撒く
綱渡り技披露して出初式
豆撒きを忘れていた二人かな
年頭に願いをたてる一万歩
日に何度避寒桜を見にゆける
ペランダにぶら下がってる干し大根
老木の梅の盛りの鳥語かな
病院の一つの灯返る
牛飼が神になり舞う春祭



俳句 (志布志句会)

袋小路帰りに迷う春の夜
わが家に暦の美女や今日の春
病んでみて優しさ貰う花すみれ
立春大吉とはどこか遠くの人のこと
うぐいすをさん付けて呼ぶ孫の立春
陽の光梅うす紅に育みつ
弓の実ばつんと紅き詩語生れ
袋帯きゅつと締めたのはいつの春
濡縁に花葉を干して今日も無事

- 森 真砂人
- 坪田 秀邑
- 吉田 十二
- 永山 又生
- 暉峻 康瑞
- 野村佐和子
- 肥後 洋子
- 天水美保子
- 山本 節子



2月17日、安楽山宮神社の春祭り

薩摩郷句 (志布志薩摩郷句会)

チラし裏れ大て字ん手紙む荷い入れつ
暗れ夜道電柱ん影い後退い
本ぢや亭主し聞かせちよい独い言
どけ行つも葉袋を確かめつ
子の言訊聞かじ叱るちよい短気父親
目の保養ち市の盆栽ゆ見つ歩りつ
信用のけ崩壊始めは仮病休ん
惨げ話蓄で散つた特攻隊
賄どまほたい忘れつ長電話

旧制の志中に七人学ばせし母が自慢の子等が集まる
生き方より今は死に方除夜の鐘まず帰命無量壽如来
高限の背より織りなす夕の雲千の色して初春を染む
まだ熱き豆腐揚げくる長男の久かたぶりの姿うれしき
元旦の雲間に一瞬陽の差して老松のしづく白く光らず
並びいる白菜幼葉待ちいたり小雨の降りぬ日もすがら降る
女湯に潜りいし児が立ち上がるふぐりの先よりしたたる滴
無花果の木に遊びいる目白二羽我が家の猫は目を光らせり
目の前の休耕田に咲き続くコスモスの原泳いでみたい
病棟を詩友と共にめぐりたり窓より見上げし思い出の月
節分に豆も撒かず只飲める福も鬼も私の人生
菜園を歩めばもこもこ左右土を割りつつ土竜の逃ぐる
自動ドアのような人です無防備なまますんなり心をはらぐ
苺込みの終わりに庭に日照雨北天高く弧を描く虹
一瞬に手に手が重なるカルタ取り拳の申赤きが一枚にぎる
うす紅の蕾のいくつミニ薔薇のこの朝一輪くれないの八重
恙が無く七十五歳になりますと灯明越しの母に告げる
躑躅を一枝賜いし住職の優しき眼冬陽のそそぐ
寺の庭ひらひら散り敷く銀杏の葉絨毯の如厚く重なる

- 竹永 南海
- 暉峻 康瑞
- 池ノ上一枝
- 岡元 初子
- 野村 三味
- 樋渡草団子
- 満留 ぐみ
- 新地 十意
- 末村 珠詩
- 橋口 笑二
- 福山 吉連
- 木藤 富美
- 竹之内零余子
- 川井田登志子
- 神田 節子
- 児玉 末子
- 外山 善恵
- 西山美津子
- 濱田 敏江
- 林 静子
- 平川 澄子
- 益倉 睦美
- 松下 葵美
- 松田 和子
- 宮原 順子
- 山田 和子
- 若松田鶴子
- 山本ハツミ

あたや
元気やこぼ

ミノリさん (92歳) 志布志町志布志
加治木ミノリさんはとっても元気。今でも、自分の食事の準備や洗濯など家事全般を行います。
「以前は元気だったんだけどね」と話す加治木さんですが、朝は6時には起床し散歩を楽しむなど健在ぶりを見せます。
現在の楽しみは週に1度のデイサービスに行くことです。デイサービスではレクリエーションはもちろんですが、仲間とおしゃべりが楽しみだといいます。
元気の秘訣を尋ねると「朝昼夜とも好き嫌なく何でも食べることです」と話し、若い頃からどんなに食べても太らないので周りの友人たちからうらやましがられるそうです。
現在は、自宅のすぐ隣に子どもと孫がいるのでとても心強いと話し、近所の方とも楽しくお付き合いをしながら心豊かに暮らしています。



大きくなあれ!



いっき 一輝ちゃん(2歳) ひより 陽和ちゃん(2歳)
さきか 咲花ちゃん(2歳) (松山町尾野見)
父 正一さん 母 朋子さん

とてもおしゃべりが上手な子どもたちです。
けんかも多いけど、3人仲良く遊ぶ姿はとてもほほえましいです。
これからも、いろいろな人に支えられながらたくましく元気に育って欲しいです。



あれじ 亜礼史ちゃん(7か月)
じんりゆう 神瑠くん(10歳)
ゆうき 雄基くん(15歳)
(志布志町志布志)
父 真一さん 母 睦實さん



はると 暖大ちゃん(3歳)
こころ 心衣ちゃん(1歳4か月)(有明町野神)
父 英貴さん 母 美希さん
毎日元気いっぱい大好きな三輪車をこぎ楽しく遊んでいます。
怖いもの知らずで何でも挑戦したが、活発な暖大ちゃんは戦隊者に夢中です。
心衣ちゃんはリズム遊びが大好きで、音楽が流れると体を動かして楽しそう。
対照的だけど、仲のよい兄妹です。

きらり青春

希さん(有明町) 20歳
職業: 医療事務

趣味: 音楽鑑賞
理想の異性: 魅力のある人
余暇の過ごし方: 鹿屋の放送局(大隅半島コミュニティFMネットワーク)に生放送見学にいたり、部屋でひなたぼっこしたり(笑)しています。
夢は: いろいろな経験を積んで今よりもっと自分を誇れるようになりたいです。
志布志市に何を望みますか: ごみ袋の大きさを前のサイズに戻してほしいです。
後輩から一言(唯香さん): 好きなコトに向かって頑張っている希さんが、とてもうらやましいです。これからも自分の目標に向かって仕事や趣味に頑張ってください!



現在PAの修行中の勝田さん

生かそう一票 あなたの鹿児島

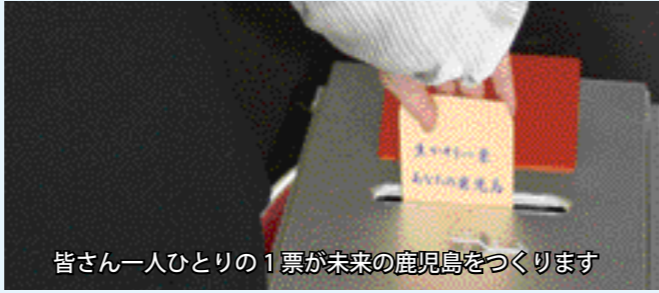
4月8日は鹿児島県議会議員選挙の投票日です

今年は、4年に一度の「統一地方選挙」の年です。本市では来る4月8日（日）に「鹿児島県（志布志市・曾於郡区）議会議員選挙」が行われます。

今回の選挙は、私たちにとって身近な選挙であり、これからの4年間、県の政治を任せる代表を決める選挙です。

有権者の皆さんは、自分の意志を政治に生かす機会を無駄にせず、棄権することなく一票を投じましょう。

- 本市で投票できるのは次の人たちです。
 - 日本国籍を有する人で、次の二つの要件を満たす方
 - (1) 昭和62年4月9日以前に生まれた人
 - (2) 平成18年12月29日以前から市内に住所があり、投票日当日までに引き続き市内に住所がある人
 - 投票日の前日までに県外へ転出した人は投票できません。
 - 3月21日以降に市内で住所が変わった人は、前住所地の投票所で投票してください。
 - 県内の他市町村に転出した人で、転出先の選挙人名簿に登録されていない人は、1回目の転出に限り転出先の市町村で無料発行する「県内に引き続き住所を有する旨の証明書」があれば本市で投票ができます。
 - 平成18年12月30日以降に県内の他市町村から本市に転入し、引き続き本市に住所を有する人は、本庁市民課又は各支所市民課で無料発行される「県内に引き続き住所を有する旨の証明書」を持参すれば、前住所地の市町村で投票できます。
- 投票所入場券
 3月29日（木）までに発送する予定です。1枚のはがき（圧着式はがきなので、はがしてください。）に、世帯毎に最大4人分の入場券が印刷してあります。必ず切り離して、各自で投票所へお持ちください。
 - ※入場券がない場合でも、選挙人名簿に登録されている人は投票することができますので、投票受付時にその旨をお申し出ください。
- 期日前投票及び不在者投票
 投票日当日に仕事や所用で投票所に行けない人は、期日前投票や不在者投票ができます。
 - 期日前投票
 期日前投票所は、次のとおり志布志市内3か所に設置されています。
 - 期間 3月31日（土）から4月7日（土）まで
 - 時間 午前8時30分から午後8時まで
 - 場所 志布志市役所松山支所隣 老人福祉センター
志布志市役所志布志支所1階会議室
志布志市役所隣 有明農村環境改善センター
 - ※今回の期日前投票は、市内全域3か所の期日前投票所で投票を行うことができます。
 - 不在者投票
 郵便等による不在者投票、指定病院等の不在者投票は、選挙管理委員会までお問い合わせください。
 - 投票所
 各指定された投票所で、午前7時から午後7時まで投票できます。ただし、志布志地区の四浦小学校は、午後6時までとなります。
- 問い合わせ先 志布志市選挙管理委員会
Tel 474-1111（内線 352, 356）



皆さん一人ひとりの1票が未来の鹿児島をつくります

平成19年度 志布志市奨学生の募集について

市教育委員会では平成19年度の高等学校・専門学校・短期大学・大学・海外留学生を対象に、次のとおり奨学生を募集します。対象者、必要書類につきましては市報しぶし2月号をご覧ください。

■募集期間	4月2日（月）から4月27日（金）
■貸与金額（年額）	
高校生	180,000円
大学・短大・専門学校生	360,000円
留学生	600,000円

- 募集要件
 本市に4月1日現在で3か月以上在住する方の子ども、所得が500万円以下の世帯（申請者が2人以上の場合はこの限りではない）とし、選考委員会で審査のうえ決定します。
- 返還方法
 卒業後、1年据え置いて翌年から5年～10年間で返還していただきます。
- 問い合わせ先
 教育委員会教育総務課 Tel 472-1111（内線 233）
 松山教育支所教育課 Tel 487-2111（内線 261）
 有明教育支所教育課 Tel 474-1111（内線 282）



市の人口 1月31日現在

人口	35,417人	(△41)
男	16,718人	(△25)
女	18,699人	(△16)
転入	65人	転出 84人
出生	21人	死亡 43人
世帯数	15,586戸	(△17)

志布志港 平成18年12月分

①入港隻数	62隻	(日本0、外国62)
②輸出	8億2千2百万円	
③輸入	92億1千7百万円	

平成19年4月から志布志市電子申請サービスが始まります

志布志市の電子申請サービスは、鹿児島県と県内市町村が共同で運営している「鹿児島県電子申請共同運営システム」の電子申請システムです。

電子申請とは、今まで、行政機関に申請や届出をするときは、直接窓口を持っていくか、書類を郵送する必要がありましたが、現在紙で行われている申請や届出などの行政手続きを、自宅や職場のパソコンから申請や届出がインターネットを利用して行うことができるものです。

電子申請がスタートすることにより、時間や場所を気にせずに手続きを済ませることができるようになります。

電子申請が利用できる手続きについては、市報しぶし4月号で詳しくお知らせいたします。

■問い合わせ先 市役所情報管理課
Tel 474-1111（内線 323）

年金情報

市役所	474-11111（内116）
志布志支所	472-11111（内243）
松山支所	487-21111（内224）

こんなにある特例免除のメリット！まずは申請を！

■保険料を一部納付したのと同じ！
免除期間の年金額の計算は、保険料が納付された場合と比較して3分の1となります。

■万が一の際も確かな保証
病気や事故で障害が残ったときの障害年金や、一家の働き手が亡くなったときの遺族年金など、免除承認期間については支給対象の期間とされます。

■本人の所得を除外して審査！
特例免除とは、通常であれば審査の対象となる本人所得を除外して審査を行い、保険料の納付が免除されるものです。（一定以上の所得があるときは保険料免除が認められない場合があります）

■特例免除は、申請する年度または前年度において退職（失業）の事実がある場合に対象となります。保険料免除の申請は、住民票のある市町村役場へ「国民年金保険料免除申請書」を提出（郵送可）してください。（申請書は市町村役場、または社会保険事務所にあります）また、この特例免除については、配偶者・世帯主が退職された場合にも対象となります。

■追納のおすすめ
国民年金には、追納という制度があり、10年以内なら免除を受けた期間の保険料を納めることができます。追納をされることにより、老齢基礎年金の年金額に参入されます。

国民健康保険からのお知らせ
平成19年 4月
診療分から 支払いが自己負担限度額までになります！

- 受診
- 入院が決まる
- 認定証の交付申請
- 認定証の交付
- 入院する
- 認定証を医療機関に提示して、限度額までを支払う



70歳未満の人は入院前に必ず申請をしてください

- ※医療機関に提示するものは、住民税非課税世帯は『保険証』『限度額適用・標準負担減額認定証』。それ以外の世帯は『保険証』『限度額適用認定証』になります。
- ※認定証は原則保険税の滞納のない世帯だけに交付されます。(滞納している方はこれまでどおり、窓口で医療費の3割(3歳未満は2割)を全額自己負担します。)

70歳未満の人が入院したときの窓口での医療費負担が軽減されます

70歳未満の人が入院したとき、平成19年3月診療分までは、自己負担分(医療費の3割または2割)を全額負担して、あとから申請により限度額を超えた分が支給されましたが、平成19年4月診療分からは「限度額適用認定証」を医療機関に提示することで、入院時の窓口での支払いが限度額までとなります。

平成14年からすでに、70歳以上では実施していましたが、平成19年4月診療分から70歳未満も対象となります。

■問い合わせ先 志布志市役所市民課国民健康保険係 Tel. 474-1111 (内線 123 ~ 125)

項目	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
	実績	計画期間					目標
各年度当初職員数	422	401	396	391	378	363	351
年度内退職予定者数	21	15	15	20	20	17	-
次年度新規採用者予定数	0	10	10	7	5	5	-
年度内増減数	-21	-5	-5	-13	-15	-12	-
平成18年度との職員数比較	-	-	-5	-10	-23	-38	-50

市では、平成18年度から平成22年度までの職員数の定員目標を掲げた「志布志市定員適正化計画」を策定しました。

今後も厳しい財政状況が予想される中、地方分権時代に対応した行政運営を推進するため、人件費の削減に取り組むものです。

計画では、左表のとおり、平成18年度当初の職員数401人を、5年間で50人削減し、平成23年度当初時

職員数を5年間で50人削減します
定員適正化計画を策定しました

点で351人以下とすることが目標です。削減率は12.5パーセント(平成18年度対比)で、国から要請されている定員純減率5.7パーセントを大きく上回るものです。

計画策定にあたっては、本市の類似団体の指標等を基に策定したもので、この職員数の削減により、5年間で3億5千万円程度の経費削減を見込んでいます。

また、計画では行政サービスの低下を招かずに職員数の削減を実施するために、

- ①本庁と支所の機能分担など組織・機構を見直し、より簡素で効率的な組織体制の構築に努めること。
- ②事務・事業の廃止など事務の合理化や職員の適正配置に努めること。
- ③行政が行う事務の範囲を見直し、業務の民間委託や指定管理者制度の活用などを積極的に推進すること。

以上の点を目標達成のための方策として定めています。

なお、定員適正化計画は、市ホームページの行政改革コーナーに掲載していますのでご覧ください。

■問い合わせ先 総務課人事厚生係
 Tel. 474-1111 (内線 212)

『税金で あの町この町 生きている』宇都中学校2年 本田歩美 (税を考える週間大隅総務事務所賞)

今月の納税

納付期限 4月2日 口座振替日 3月26日
 口座振替をされる方は、口座振替日の前日までに残高確認をお願いします。

国民健康保険税 (随期) 介護保険料 (随期)

仕事や家事にお忙しい皆様へ！ 市税等のお支払いは

安心・確実・便利な口座振替をご利用ください

口座振替は、一度お申し込みいただければ、毎月25日(再振替は翌月の10日)にご指定の口座から自動的に引き落としを行うものです。

- 口座振替の対象
 税等…市県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料
 その他…水道使用料・下水道使用料・市営住宅・保育料・福祉施設負担金

※水道使用料は毎月23日に引き落としになります。

■メリット

- 金融機関に納めに行く手間が省けます。
- うっかり納め忘れることがありません。
- 翌年(次回)からも自動的に継続されるため再手続きは不要です。

■ご利用できる金融機関

- 鹿児島銀行・南日本銀行・鹿児島相互信用金庫
- 九州労働金庫・鹿児島信用金庫・鹿児島県信用組合
- そお鹿児島農業協同組合・あおぞら農業協同組合
- 宮崎銀行・日本郵政公社



地域活性化住宅入居者の募集

原田住宅及び野神住宅の入居者を募集します
 市では、下記住宅の入居者を募集しています。

- 住宅の名称及び所在地
 原田住宅J棟(1戸) 志布志市有明町原田 1504-12
 野神住宅G棟(1戸) 志布志市有明町野神 4042-4
- 住宅の規格 木造(1戸建)、3LDK(22.2坪)
- 家賃月額
 (1) 小学校以下の子供が同居するもの 30,000円
 (2) 前号に掲げる以外のもの 35,000円

- 入居資格
 (1) 自ら居住するための住宅を必要とする者のうち、現に同居し、又は同居しようとする親族(婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者その他婚姻の予約者を含む。)がある者
 (2) 現に住居に困っているもの(既公営住宅入居者は不可)
 (3) 市町村税の滞納のない者



■申込方法

左記の金融機関に申込書がありますので、必要事項を記入・押印し、口座開設している金融機関(農協口座で振替希望の方は、印鑑照合のためご自分の通帳明記の本(支)所)に提出してください。

なお、申し込み受付は随時行っておりますが、申し込みをされた後約2か月登録期間が必要となりますので、申し込み手続きはお早めにお済ませください。

■問い合わせ先

志布志市役所 本庁 税務課 収納管理係
 Tel. 474-1111 (内線 147・148) …税金・介護保険料
 ※その他の料金等については、下記のそれぞれの係にお尋ねください。

■その他の使用料など

- (志布志市役所 本庁 Tel. 474-1111)
- 水道使用料 水道局総務係(内線 483)
- 下水道使用料 環境政策課環境整備係(内線 135・136)
- 市営住宅使用料 管理課管理係(内線 467)
- 保育料 福祉課児童福祉係(内線 173)
- 福祉施設負担金 福祉課障害・高齢者福祉係(内線 175)

■優先順位

(活性化住宅は、民間活力を導入しながら、児童数の減少を防ぎ、地域の活性化を図る目的として、一戸建(家族向け)を低家賃で提供する市営住宅です。)

- 1 市外居住者で、小学生の子が同居する者。
- 2 市外居住者で、未就学児が同居するもの。
- 3 市内居住者(校区外)で、小学生の子が同居する者。
- 4 市内居住者(校区外)で、未就学児が同居するもの。
- 5 市外居住者で、若夫婦。
- 6 校区内居住者で、未就学児が同居するもの。

※ただし、同居する人数や年齢を考慮する。

■入居者の決定方法

優先順位により選考し、同条件の場合は公開抽選

■募集期間 3月30日(金)まで

※入居資格、添付書類につきましては下記までお問い合わせ下さい。

申込み・問い合わせ先
 管理課 管理係 Tel. 474-1111 (内線 467)

仕事探しをされる方や従業員を募集される事業所の皆様へ

平成 18 年 4 月から志布志市地域職業相談室が開設されました。検索パソコンも設置され、今まで以上にご利用しやすくなりました。

- 業務取扱日 月曜～金曜日 (祝日、年末年始は除きます)
- 取扱時間 8 時 30 分～17 時 (12 時～13 時は昼休み)
- 取扱内容 求人情報の提供、求職申込み、職業相談、職業紹介、Qメールサービス申込み、求人の申込み等を取り扱います。なお、雇用保険は取り扱いません。

■Qメールサービスの概要

- ・登録されたメールアドレスにあらかじめ登録した希望する仕事があった場合、毎日求人情報を送信します。
- ・提供する求人情報の内容は、事業所名、就業場所、仕事の内容、賃金や就業時間等の労働条件、加入保険などです。※詳細については、ハローワーク大隅、志布志市地域職業相談室 (市役所志布志支所 1 階) にお問い合わせください。

問い合わせ先 **ハローワーク大隅** Tel 482-1265
志布志市地域職業相談室 Tel 471-1710

しぶし・お釈迦祭り稚児行列参加者募集!

志布志市お釈迦祭り実行委員会では、4 月 29 日 (昭和の日) に開催する「しぶし・お釈迦祭り」の「稚児行列」へ参加される方を募集しています。

参加を希望される方は、下記までお申込ください。

■募集要項

- ・対象 2 歳から 3 歳 (体重 17kg 以下)
- ・募集組数 20 組
- ・締切り 定員になり次第、締め切ります。
- ・参加費用 1 組 3,000 円
- ・その他 籠の担ぎ手は、参加者で手配をお願いします。(2人)

申込・問い合わせ先 **金剛寺** Tel 472-0125

3月・4月 休日在宅医診療

3/18日	はまさき耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉科)	Tel 473-3387
	藤後クリニック(内科)	Tel 472-1237
21日	松下医院(内・外科、皮膚科)	Tel 472-1124
	山下クリニック(内・外科、整、脳)	Tel 487-9001
25日	手塚クリニック(内・外科)	Tel 472-5565
	砂原医院(内・外科、小児科)	Tel 474-0020
4/1日	東郷クリニック(産婦人科)	Tel 473-1035
	石神診療所(内科・皮膚科)	Tel 474-0107
8日	藤後クリニック(内科)	Tel 472-1237
	びろうの樹整形外科(整形・内科)	Tel 471-6611
15日	陽春堂内科診療所(内科)	Tel 472-5511
	砂原医院(内・外科・小児科)	Tel 474-0020

※都城市・北諸県郡管内の休日の救急診療機関は、電話でのテープ案内 (Tel 0986-23-5555) を行っていますので活用ください。

お釈迦祭りに護衛艦「はるゆき」「あさゆき」が志布志港にやってきました

4 月 28 日、29 日に開催される『お釈迦祭り』に合わせて、護衛艦「はるゆき」と「あさゆき」が志布志港に入港します。入港に伴い、下記の日程で艦内の一般公開と体験航海が行われます。めったにない機会ですのでふるってご参加ください。

- 一般公開 4 月 28 日(土) 12 時～16 時 (事前申込み不要)
- 体験航海 4 月 29 日(日)
 - 10 時～12 時 (310 人乗艦可能・事前申込み必要)
 - 14 時～16 時 (710 人乗艦可能・事前申込み必要)
- 場所 観光船バース (志布志港旅客船ふ頭)

※体験航海は先着順に受け付け、定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。天候によっては中止になる場合があります。

申込み先 **お釈迦祭り実行委員会事務局 (市役所港湾商工課内)**
Tel 474-1111 (内線 263、264)

2007 志布志ポートレディー募集! 皆さんの応募をお待ちしています

志布志市観光協会では、志布志市在住の明るく積極的な女性を志布志ポートレディーとして 2 人募集しています。自薦、他薦を問いませんので、お申し込みください。

※申込時に写真の添付をお願い致します。

■募集要項

- ・年齢 18 歳以上
- ・対象 市内在住者
- ・締切り 3 月 30 日 (金)
- ・活動内容 県内外の各種イベントへの参加
- ・その他 制服一式 (夏、冬)、派遣手当支給、副賞。

申込み先 **志布志市役所 企画部 港湾商工課内**
志布志市観光協会 事務局 (京之嶺) まで
Tel 474-1111 (内線 264) 471-4456 (直通)

水道修繕当番店

地区	月	担当	TEL	
松山地区	3 月	濱田建設	Tel 487-2288	
	4 月	今井水道	Tel 487-8868	
志布志地区	3 月 6 日～3 月 12 日	崎田建設	Tel 473-0050	
	3 月 13 日～3 月 19 日	志布志水道	Tel 472-3540	
	3 月 20 日～3 月 26 日	九電工	Tel 472-0112	
	3 月 27 日～4 月 2 日	山本組	Tel 472-1101	
	4 月 3 日～4 月 9 日	宮崎水道	Tel 472-1081	
	4 月 10 日～4 月 16 日	高吉組	Tel 472-0721	
	有明地区	3 月	山中水道建設	Tel 474-1440 有線 6930
		4 月	有明水道土木	Tel 475-0635 有線 3672

3月と4月の行政相談は都合により中止いたします。

事業主の皆様へ 労働保険年度更新手続きのお知らせ

労働保険 (労災保険・雇用保険) の年度更新手続きの期間は、4 月 1 日から 5 月 21 日までとなっています。この期間中に、平成 18 年度の確定保険料と平成 19 年度の概算保険料の申告・納付を行ってください。

また、平成 19 年 4 月 1 日から、石綿健康被害救済のための「一般拠出金」の申告・納付が始まります。労災保険適用事業場の事業主のかたは、労働保険料と併せて申告・納付していただくことになります。

問い合わせ先 **鹿児島労働局労働保険徴収室**
Tel 099-223-8276

自動車の名義変更・抹消登録の手続きは確実に!

自動車税は、毎年 4 月 1 日現在で車検証に記載されている自動車の所有者または使用者に納めていただく税金です。そのため、自動車を下取りに出したり廃車にした場合でも、移転登録や抹消登録が済んでいなければ、いつまでも元の所有者または使用者に税金がかかってきます。

まだ移転・抹消の登録がお済みでない方は、3 月末までに必要な手続きをとってください。

問い合わせ先
 ・自動車の登録手続きについては
鹿児島運輸支局登録部門 (Tel 050-5540-2089)
 ・自動車税については
県自動車税管理事務所 (Tel 099-261-5611)

特設人権相談所が開設されます

鹿児島地方法務局と鹿屋人権擁護委員協議会では、人権問題や法律に関する問題等地域住民の方々の相談に応じています。

■場所 4 月 16 日 (月) 曾於市老人福祉センター
4 月 20 日 (金) 志布志市市民センター
4 月 25 日 (水) 大崎町中央公民館

■時間 10 時～15 時

問い合わせ先 **地方法務局鹿屋支局** Tel 0994-43-6790

水質検査結果についてお知らせします

■志布志地区 19 年 1 月 15 日採取

検査項目	単位水	水質基準/採取地	上水道		志布志地区簡易水道				
			安楽公民館	森山小学校	出水地区出水公民館	田之浦地区大越地区	上田之浦地区大久保墓地	四浦地区四浦小学校	
一般細菌	個/ml	100 以下	0	0	0	0	0	0	
大腸菌群	-	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	10 以下	7.6	2.9	3.7	1.3	2.1	0.5	
塩化物イオン	mg/l	200 以下	14	8	14	6.3	9.3	4.9	
有機物等 (全有機炭素(TOC)の量)	mg/l	5 以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	
pH 値	-	5.8 以上 8.6 以下	6.3	6.7	6.8	6.8	6.9	7.2	
味	-	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
臭気	-	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
色度	度	5 以下	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	
濁度	度	2 以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	
残留塩素	mg/l		0.31	0.4	0.6	0.53	0.45	0.37	

※市水道局では安心・安全な水道水の提供の一環として定期的に各水源の水質検査を行い、公表しています。

志布志市くらしのカレンダー

日曜当番医は〇〇ページに掲載しています

ニュース・ご意見などありましたら E-mail info@city.shibushi.lg.jp までご一報ください

3/13 (火)	中学校卒業式 5歳児歯科検診(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)	29 (木)	
14 (水)	母子手帳交付(9:00~12:00 松山支所福祉課) 心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ)	30 (金)	
15 (木)	所得税確定申告締切日 移動年金相談(10:00~15:00 志布志支所1階会議室) 三種混合予防接種(13:30~14:00受付 アピア2階ホール) 3歳児健康診査(13:00~13:30受付 改善センター)	31 (土)	
16 (金)	巡回健診結果報告会(9:00~9:30受付 やつちくふれあいセンター) 三種混合予防接種(13:30~14:00受付 アピア2階ホール)	4/1 (日)	
17 (土)		2 (月)	消費税確定申告締切日 市春季畜産共進会(JAあおぞら主催)
18 (日)	第2回しぶしポートマラソン大会(20頁参照)	3 (火)	法律相談(13:00~15:00 志布志市役所本庁3階) 市春季畜産共進会(JAそお志布志支所) 心配ごと相談(10:00~15:00 市老人福祉センター)
19 (月)	三種混合予防接種(13:30~14:00受付 改善センターホール)	4 (水)	市春季畜産共進会(JAそお松山支所) 巡回健診(7:30~9:00 *1*2) 11日まで
20 (火)	法律相談(13:00~15:00 志布志支所5階会議室) 心配ごと相談(10:00~15:00 市老人福祉センター) 心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 心配ごと相談(10:00~15:00 市老人福祉センター) 1歳児歯科相談(9:30~10:00受付 健康ふれあいプラザ) 育児相談(10:30~12:00 健康ふれあいプラザ)	5 (木)	心配ごと相談(10:00~15:00 市民センター)
21 (水)	春分の日	6 (金)	小・中学校・入学式
22 (木)	小学校卒業式 1歳6ヶ月児健康診査(13:00~13:30受付 改善センター)	7 (土)	
23 (金)	1歳児歯科相談(9:30~9:45受付 宇都鼻農村研修センター) 3歳児健康診査(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ) 育児相談(10:30~12:00 宇都鼻農村研修センター)	8 (日)	鹿児島県議会議員選挙投票日(27頁参照)
24 (土)	にこにこひろば(14:00~ 改善センター)	9 (月)	
25 (日)		10 (火)	
26 (月)		11 (水)	
27 (火)	1歳6か月健康診査(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)	12 (木)	乳児検診/BCG予防接種(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ) 3歳児健康診査(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)
28 (水)	母子手帳交付(9:00~12:00 松山支所福祉課) 母子手帳交付(13:30~16:00 本庁保健課窓口) 心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ)	13 (金)	2歳児歯科健診(13:00~13:30受付 改善センター)

- ※ 志布志支所での母子手帳交付は毎週月曜日の午前中に福祉課窓口で行います。
- ※1 場所・時間の詳細は、対象者に配布される受診票をご覧ください。
- ※2 巡回健診は「基本健診、胃がん検診、超音波検査・大腸がん検診」になります。

▼あつという間に2月も終わりました。最近では社会全体がせわしく、時間の流れるのが早く「じつくり」と何かに打ち込むことが少なくなつたように感じます。▼先日、生涯学習フェスタと県下一周駅伝を取材しました。文化とスポーツは全く違うようですが、本番に向けてどちらも練習や準備を「じつくり」していたのだらうと思います。▼そして周りを見回すと志布志市には、まだまだ「じつくり」が数多く存在していると思います。各地域での春祭りなど、イベントを開催するための話し合い。そして準備、当日の運営と多くの人が携わり、力をあわせている様子を垣間見ることが出来ます。▼パソコンやテレビも良いですが、市内の様々なイベントに参加してゆつくりとした時の流れを味わいませんか?(や)

編集後記

3月・4月の行事予定
げんき市(昭和通付近)
毎週土・日曜日(9時~15時)
花野果市(田之浦ふるさと交流館)
3月25日(9時~12時)
やつちくふれあい市(道の駅松山)
3月25日、4月8日(10時~12時)
戌の市(宝満寺)
3月17日、29日、4月10日
駅通り会土曜朝市(アピア前駐車場)
毎月第1、第3土曜日(7時~11時)
そば処ちんたら庵(山重芝用)
毎週日曜日11時~14時

©この広報紙は再生紙を使用しています。